

第4回ナノスケールサーボのための 新しい制御技術協同研究委員会議事録(案)

1. 日時・場所

日時:平成 18 年 9 月 8 日(金) 12 時~13 時
場所:工学院大学 新宿キャンパス 8 階 A0865
〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2
最寄駅:JR, 京王線, 小田急線, 地下鉄「新宿駅」
(<http://www.kogakuin.ac.jp/map/shinjuku/index.html>)

2. 出席者

委員長 藤本(横浜国立大)
幹事 川福(名工大), 佐渡(東芝)
委員 石本(ソニー), 伊藤 和晃(豊田高専), 伊藤 博仁(キヤノン), 岩崎(名工大, 代理:山元),
内田(日立GST), 浦川(ソニー), 大野(東大), 河辺(富士通), 小出(NHK),
佐藤(兵庫県立大学), 高倉(東芝), 原進(豊田工大), 原 武生(富士通),
平田(宇都宮大), 藤岡(京大), 二見(安川電機)
幹事補佐 呉(東大) (計 20名)

3. 資料

NSS 4-0 第4回ナノスケールサーボのための新しい制御技術協同研究委員会議事次第

4. 議事

4.1 自己紹介

二見委員・藤岡委員から自己紹介があった

4.2 部門大会シンポジウム報告

藤本委員長より部門大会シンポジウム報告が行われた。
約40人の参加で白熱したディスカッションが行われ、盛況に終わったとの報告があった。

4.3 次回以降の予定

佐渡幹事より、第5回を10月中に、第6回を年末年始に開くという予定の話があった。
10月30日の週に石本委員、二見委員、平田委員を話題提供の候補とし、詳細日程をつめることとなった。

4.4 新ベンチマークに関する議論

研究会のベンチマークセッションの中、平田委員が新ベンチマーク問題をより詳しく紹介して議論が行われた。

ベンチマークが提供するモデルの情報を制御器設計に利用するとき、制約を設ける必要があるのか、すべての共振を既知としてよいのか、

ループゲイン±5%は不要ではないか、

複数のプラントに対し、1個のコントローラ(適応制御のような時変制御器も含む)で対処すると明示した方がよいのではないか、

の議論が行われた。